

第8期古河市障害福祉計画及び第4期古河市障害児福祉計画策定業務事業者評価表

【第一次審査】

審査項目	評価の視点	評価のポイント	採点				
			特に優れている	優れている	普通	やや劣る	劣る
業務執行体制	専門的な知識・ノウハウ・経験を有した業務責任者及び業務担当者を配置し、適切な体制がとれているか	責任者・担当者のそれぞれの方が福祉関連計画策定の実績があれば、 基準(普通) とし、人員体制の人数やこれまでの実績を考慮し加減する。	5	4	3	0	1
情報収集能力	障害者施策に関して情報収集、分析を行い十分に研究しているか。	適切なスケジュール計画となっていれば、 基準(普通) となり、その他、詳細なスケジュール内容で示しているかを考慮し加減する。	5	4	3	2	1
事業執行全体計画	本業務を遂行するために適切なスケジュールが設定されているか スケジュール進捗管理について、適切な体制がとられているか	どのような調査方法で実施するかを考慮して判断する。また、調査内容等の個人情報の取り扱いについて細心の注意を管理できるかを考慮し加減する。	5	4	3	2	1
調査遂行体制	本市の意図を理解し、具体的かつ的確な手法で調査を遂行することができるか 個人情報の取り扱いを適正に対応できる提案となっているか	古河市の関連計画の理解があれば、 基準(普通) とし、関連計画の内容をどれだけ把握しているかを考慮し加減する。	5	4	3	2	1
関連計画の整合性	古河市総合計画、地域福祉計画、障害福祉計画等の関連計画を理解し、整合性が図れることができるか	現計画の理解ができれば、 基準(普通) とし、古河市の障害者施策等をどれだけ理解し、どのような手法で課題抽出していくかを考慮し加減する。	5	4	3	2	1
現状把握、課題抽出	現計画を理解し、現状分析に有効な方法が提案されているか	課題整理の手順が示されていれば、 基準(普通) とし、課題をどう整理していくかを考慮し加減する。	5	4	3	2	1
課題整理	本市の障がい者の現状を理解し、調査により課題の整理及び抽出をする手法が提案されているか	課題整理の実施方法が効率的にできるかを考慮して判断する。	5	4	3	2	1
政策動向の把握	障害者福祉をめぐる法改正などの国・県の政策動向等に対する情報をとらえているか	会議支援はもとより、通常の打ち合わせ等が緊密な関係で実施できるかを考慮して判断する。	5	4	3	2	1
会議支援	資料作成、助言、議事要旨の作成など、事務的な会議支援が期待できるか	わかりやすく、親しみやすい計画書となるかを考慮し、判断する。	5	4	3	2	1
編集・表現	市民に分かりやすく見やすい計画書となるよう、工夫された提案されているか	課題から施策の展開へと古河市独自の計画書になるかを考慮し判断する。	5	4	3	2	1
事業実績	本事業を遂行するために必要な業務実績を有しているか 他市町村の障害者計画、保健福祉計画策定等に実績があり、成果をあげているか		5	4	3	2	1
価格	見積書の価格が、提案書の内容に対して妥当であるか		5	4	3	2	1
小 計			/60				

【第二次審査】

審査項目	評価の視点	評価のポイント	採点				
			特に優れている	優れている	普通	やや劣る	劣る
業務執行能力	本業務へのプレゼンテーションが明確であり、業務に対する取組意欲が感じられる	事業者の意欲、印象を考慮し、業務遂行能力を判断する。	20	15	10	5	1
専門技術能力	本業務に直接係る担当者の業務経験や知識が豊富であり、効果的、積極的な提案が期待できる	担当者の経験、知識が豊富で実現可能な提案か判断する。	20	15	10	5	1
小 計			/40				

合 計			/100				
-----	--	--	------	--	--	--	--